

# 金融機関の融資姿勢に関する企業の意識調査

2005年2月7日

お問い合わせ先：株式会社帝国データバンク 産業調査部

電話：03-5775-3163、e-mail：keiki@mail.tdb.co.jp

http://www.tdb.co.jp/

景気動向調査 http://www.tdb-di.com/

## 金融機関の融資姿勢、総じて改善 ～大手銀行ほど積極的だが、担保主義は改善途上～

株価の回復や2002年10月に策定された金融再生プログラムなどによって不良債権処理が進んだことで、金融不安は後退しつつある。

事実、企業から見た金融機関の融資姿勢を示す「金融機関の融資姿勢DI」(TDB景気動向調査)は、2002年11月から2004年7月まで21カ月連続で改善している。また、2003年7月以降は判断の分かれ目である50ポイントを上回るなど、企業の借り入れ環境には改善傾向が見られる。

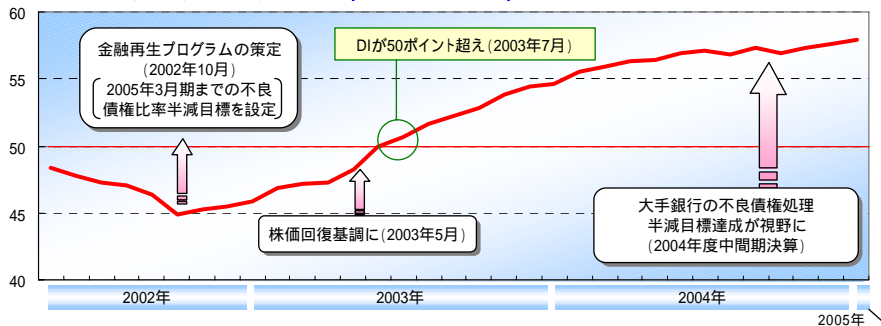
そこで帝国データバンクでは、2002年5月から毎月行っている「TDB景気動向調査」(インターネットリサーチ)において、公的保証付を除く無担保融資、および担保主義の動向について調査を実施した。調査期間は2005年1月21日～31日。調査対象は全国2万192社で有効回答企業数は9,677社(回答率47.9%)。なお、担保主義に関する調査は2003年6月に次いで2回目。

### 金融機関の融資姿勢DI、19カ月連続で50ポイント超えと改善進む

2005年1月の金融機関の融資姿勢DIは、前月比0.3ポイント増の57.9となった。3カ月連続の改善で、2002年5月の調査開始以来、最も高くなった。

2004年夏以降、景気は減速感が漂っているものの、DIは2003年7月から19カ

改善傾向が続く「金融機関の融資姿勢DI」(TDB景気動向調査)



月連続で50ポイント超えと改善傾向を続けており、企業が金融機関の融資姿勢の改善を感じていることが裏付けられる結果となっている。

### 融資姿勢は総じて改善、大手銀行ほど積極的な傾向が鮮明に

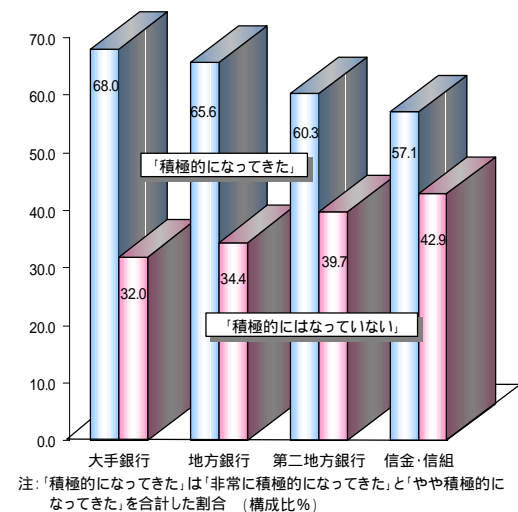
公的保証付を除く無担保融資に関して、半年前と比較した金融機関の融資姿勢を業態別に尋ねたところ、大手銀行(メガバンクや信託銀行など)に対して「非常に積極的になってきた」と回答した企業は、「取引はない」企業(2,174社)および「分からない/不回答」企業(2,059社)を除く5,444社中951社、全体の17.5%となった。

また、「やや積極的になってきた」企業は同50.5%(2,751社)と過半数にのぼっており、大手銀行の融資姿勢が「積極的になってきた」と感じている企業は計68.0%(3,702社)と約7割を占めた。

さらに、地銀、第二地銀、信金・信組でも同様に尋ねた結果、それぞれで融資姿勢が「積極的になってきた」との回答が半数を大きく上回った。

この結果、企業が感じる融資姿勢はすべての金融機関において改善傾向にあることが明らかとなるとともに、大手銀行ほど積極的な傾向にあることが鮮明となった。

大手銀行ほど積極的な傾向が鮮明に



## 金融機関の担保主義 44.5%が緩和を実感するものの依然として改善途上

金融機関における担保主義の傾向について尋ねたところ、「担保主義ではなくなってきた」と回答した企業は、「分からない/不回答」企業(2,618社)を除く7,059社中744社、全体の10.5%となった。

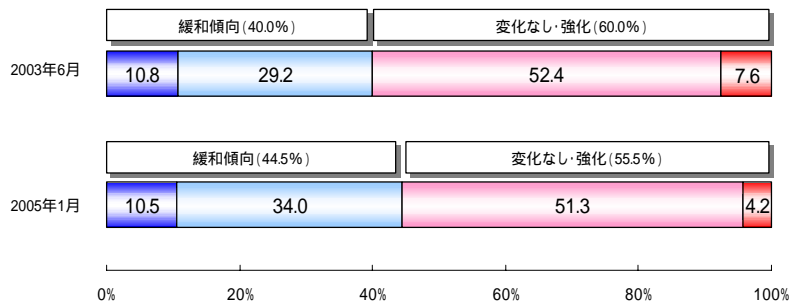
また、「担保主義が緩和されてきている」とした企業も同34.0%(2,397社)あり、合わせると計44.5%(3,141社)が担保主義の緩和傾向を感じていることが分かった。具体的には、「担保主義を脱却して業績重視の傾向が見られる」(運送業、埼玉県)といった声が目立った。

一方、「担保主義の傾向に変化はない」、「担保主義が強化されている」と回答した企業はそれぞれ同51.3%(3,622社)同4.2%(296社)あり、これらを合わせて計55.5%(3,918社)の企業が担保主義の緩和には否定的な見解を示した。企業からは、「担保主義の実態にあまり変化はない。まだまだ企業を多角的に評価する能力が向上していないと痛感する」(工作機械卸、埼玉県)「保証協会付融資のみ積極的」(型枠工事、千葉県)といった声が聞かれた。

これらの傾向を、2003年6月に行った調査結果と比較すると、「緩和傾向」と回答した割合の改善幅はわずか4.5ポイント(40.0%→44.5%)にとどまっており、依然として担保主義は改善途上にあることを示している。

金融機関の担保主義、若干改善したが大きな変化はなし

|         | 担保主義ではなくなってきた | 担保主義が緩和されてきている | 担保主義の傾向に変化はない | 担保主義が強化されている | 計             |
|---------|---------------|----------------|---------------|--------------|---------------|
| 2003年6月 | 10.8 (915)    | 29.2 (2,482)   | 52.4 (4,450)  | 7.6 (642)    | 100.0 (8,489) |
| 2005年1月 | 10.5 (744)    | 34.0 (2,397)   | 51.3 (3,622)  | 4.2 (296)    | 100.0 (7,059) |



## 【その他の企業の声(一部抜粋)】

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担保主義の緩和を感じる企業   | <p>経営指針づくりをし明確なビジョンを示して会社経営を行って実績を上げていくと、無担保融資に積極的に対応してくれる(呉服・宝飾卸売、北海道)</p> <p>不動産取引が低調で担保価値が下落しており、キャッシュフロー重視になっている(土木建築工事、岩手県)</p> <p>政府の中小企業に対する配慮、支援が有効に機能しているうえ、銀行からの極めて積極的な支援があり、多くの中小企業が業績面を考慮した融資に救われている(土木工事、福島県)</p> <p>都銀も「中小企業融資への拡大競争の一本釣り手法」でセールスに積極的。現在の資金需要の弱さからきているとも思われるが、まさにバブル期の再来を感じる(不動産賃貸、茨城県)</p> <p>ユーザーに有利な商品を積極的に提示してくるようになった。物的担保ではなく、人とノウハウを担保として見極めることが金融機関の本来の融資能力であるかと数年前から指摘してきたが、金融機関によってはかなり移行の姿勢が見られる(農業・肥料卸売、広島県)</p>                                                                             |
| 担保主義に変化なしと感じる企業 | <p>保証人確認が非常にうさくなってきている(冷凍食品販売、北海道)</p> <p>信用保証協会の保証などならなかの裏づけを要求される(土木工事、千葉県)</p> <p>積極的に融資するという姿勢は見せるものの、結局はそれに見合う担保を要求する形で何も変わっていない。もっと、金融機関が自分の審査能力を上げて、積極的に融資する姿勢を見せて欲しい(プラスチック製造、東京都)</p> <p>金融庁の査定基準を忠実に守り、それにスライドして自己査定基準を取り入れるなど、あまりにも監督官庁の顔色を伺うような対応であり、リスク回避ばかりを重視している。地場産業の育成には程遠い(木材卸売、三重県)</p> <p>担保主義については以前に比べて何も変わっていない。実際に業務の内容や今後のビジョン・計画をしっかりと見て融資を考えるなんていうことはまったくできていない。優良企業に対してのみ実施しイメージアップに使っているとか思えない(事務機器販売、滋賀県)</p> <p>財務面のコンサルタントというサービスを実施すると言いながら、その業績の状態に停滞が見られると追加担保と利率のアップを公然と口に出し始めてきている(釣具小売、沖縄県)</p> |

## 【回答データ】

半年前と比較した金融機関の融資姿勢(公的保証付を除く無担保融資)

|        | 非常に積極的になってきた | やや積極的になってきた  | 積極的にはなっていない  | 計             |
|--------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 大手銀行   | 17.5 (951)   | 50.5 (2,751) | 32.0 (1,742) | 100.0 (5,444) |
| 地方銀行   | 15.1 (896)   | 50.5 (2,989) | 34.4 (2,038) | 100.0 (5,923) |
| 第二地方銀行 | 13.6 (454)   | 46.7 (1,560) | 39.7 (1,327) | 100.0 (3,341) |
| 信金・信組  | 12.1 (439)   | 45.0 (1,631) | 42.9 (1,558) | 100.0 (3,628) |

注:構成比%、( )内は社数

## 「金融機関の融資姿勢DI」算出方法(TDB景気動向調査)

DIは、調査先企業の7段階の判断にそれぞれ下表カッコ内の点数を与え、これらを回答区分の構成比(%)に乗じて算出。DI=50が判断の分かれ目。

| 非常に消極的 | 消極的   | やや消極的 | 変化ない  | やや積極的 | 積極的   | 非常に積極的 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| (0)    | (1/6) | (2/6) | (3/6) | (4/6) | (5/6) | (6/6)  |
| 0      | 16.6  | 33.3  | DI=50 | 66.6  | 83.3  | 100    |

DIが50より上は「積極的」超過、下は「消極的」超過を意味する。